



ダムニュース

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター
[郵便番号] 〒110-0008
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
[電話] 03-5815-4161
[FAX] 03-5815-4162
[ウェブサイト] <https://www.jdec.or.jp/>
[電子メール] damnews@jdec.or.jp

この号の内容

- 1 Dam news 投稿記事募集
- 2 「第19回東北ダム技術検討会」開催
- 3 第39回「ダムフォトコンテスト」審査結果
- 4 「ダム技術 12月」の目次
- 5 図書販売



東北ダム技術検討会 現地視察の様子

Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、**積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。**

1. イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）
2. 小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）
3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）
4. ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）
5. ダム周辺の自然紹介
6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）
7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）
8. 水害・地震等報告
9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター 『ダムニュース』 編集事務局
[郵便番号] 〒110-0008
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
[担当者] 企画部 ダムニュース担当
[電話] 03-5815-4161
[FAX] 03-5815-4162
[電子メール] damnews@jdec.or.jp

「第19回東北ダム技術検討会」開催 ～東北地方整備局～

「東北ダム技術検討会」（以下、本検討会）は、ダム事業の円滑かつ効率的な事業執行及び若手職員の技術力向上を図ることを目的に、平成18年度に設立され、今回で19回目を数えるものです。

本検討会には、国立研究開発法人土木研究所（以下、土研）、国土技術政策総合研究所（以下、国総研）、東北地方整備局、管内ダム関係事務所等の職員が出席し、東北地方整備局が管轄するダムの調査・設計・施工・管理に関する様々な技術的課題等について、議論、意見交換を行っています。

今年、令和6年9月27日（金）に成瀬ダム（秋田県雄勝郡東成瀬村）において、技術検討会（WEB配信も実施）と現地検討会の2部構成で実施し、89名（うちWEB参加者12名）が参加しました。

技術検討会では、土研 地質・地盤研究グループ 地質チーム 品川 俊介 上席研究員より『ダムの第四紀断層調査』について講話をいただきました。

講話は、地震の原因と分類から始まり、断層の定義や断層の活動による災害とダムにおける対応について紹介いただくとともに、将来活動する可能性のある第四紀断層の調査手法や留意点等についてご講話いただきました。若手職員から多くの質問がなされ、今後の業務執行にあたり非常に有用な講話となりました。

その後、ダム関係事務所より、3つの課題について報告があり、検討会出席者で議論を行いました。

鳴瀬川総合開発工事事務所からは、「鳴瀬川総合開発事業における過早凝結対応の取組状況について（室内試験編）」と題して、台形CSGダムである鳴瀬川ダムの主要な堤体材料であるCSGの強度や施工性に悪影響を及ぼす過早凝結の対策について、試験状況と今後の検討課題が報告されました。

鳥海ダム工事事務所からは、「鳥海ダム取水・放流設備の施工計画」と題して、鳥海ダムの取水・放流設備の概要・施工計画、工期短縮のために取り組んでいる工夫などを報告しました。

成瀬ダム工事事務所からは、「成瀬ダムにおけるDX実装について」と題して、AI画像解析を活用したCSG材品質管理の合理化や、基礎処理工における現場立会のビデオオンデマンド化について報告しました。

これらの報告に対して、参加者からは多くの質問や意見があり、また、土研・国総研からは具体的なアドバイスがなされる等、活発な議論が行われました。特に若手職員からは、積極的な質疑がなされ、今後のダム事業の担い手となる若手職員の技術向上に繋がるものとなりました。

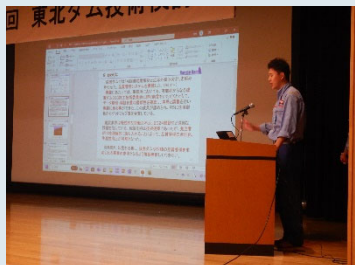
現地検討会では、堤体打設等を鋭意施工中である成瀬ダムを会場に、本年度で見納めとなる堤体CSGの打設状況等を視察しました。現地では事務所職員からの説明の後、参加者の質疑応答や土研・国総研との意見交換が行われ、CSG工法への理解を深める一助になったものと考えます。

ダム技術は構造、水理、地質、環境等々多岐にわたるとともに、専門性が強く継続的な人材の育成が不可欠です。東北地方整備局では、人材育成の取り組みとして、本検討会に加え、東北ダム技術勉強会（以下、勉強会）を定期的に開催しており、若手ダム技術者の育成とダムの技術継承に取り組んでいます。今後もこの取り組みを継続し、職員の技術力向上を図っていきたいと考えています。

（東北地方整備局 河川部 河川計画課）



▲土研 品川上席研究員による講話



▲事務所からの報告



▲報告内容に対する質問・意見



▲WEB配信も実施



▲土研・国総研からの技術的な助言



▲ダム堤頂部付近での工事概要説明



▲取水設備について説明

第39回「ダムフォトコンテスト」審査結果

一般財団法人ダム技術センターが「ダム」をテーマにして第39回「ダムフォトコンテスト」を開催しました。

当コンテストには、全国各地の147名の方から総数401点もの多くのご応募をいただき、厳正な審査の結果、13名の方が入賞されました。

<最優秀賞>



岐阜県 小里川ダム

撮影者：田村 紀明 様

<審査員特別賞>

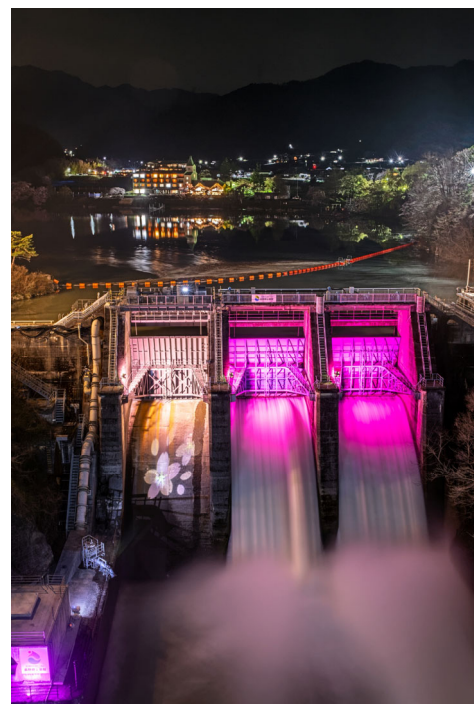


山形県 月山ダム
撮影者：斎藤 新一 様

<優秀賞>



大阪府 安威川ダム
撮影者：西浦 正洋 様



長野県 高遠ダム
撮影者：平野 博之 様



東京都 小河内ダム
撮影者：星野 郁男 様

<佳作>



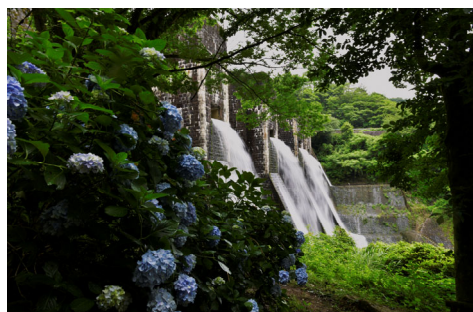
京都府 世木ダム
撮影者：小園 深志 様



三重県 比奈知ダム
撮影者：上杉 裕昭 様



滋賀県 日野川ダム
撮影者：玉井 勝典 様



香川県 豊稔池ダム
撮影者：平井 正光 様



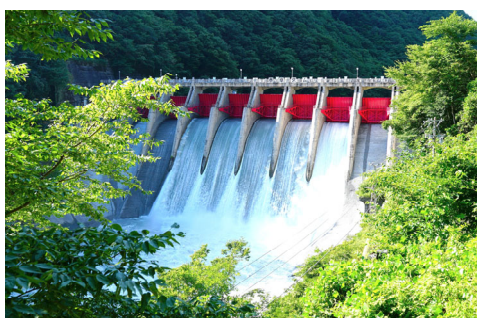
北海道 岩尾内ダム
撮影者：林 真之介 様



福井県 河内川ダム
撮影者：岸本 由美子 様



佐賀県 嘉瀬川ダム
撮影者：中原 直樹 様



長野県 泰阜ダム
撮影者：長谷 薫 様

DECEMBER

2024

ダム技術

No. 459

目次

巻頭言 「人生100年時代のフロンティア県・香川」の実現に向けて

香川県知事 池田 豊人

特別寄稿 令和6年能登半島地震のダムへの影響に関する調査（その2）
観測された地震動とその記録を用いたダムへの影響の分析

国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部河川構造物管理研究官 金銅 将史

〃 大規模河川構造物研究室主任研究官 小堀 俊秀

〃 室長 櫻井 寿之

技術研究 ダム再生事業における流水処理に関する制約条件と施工計画に関する検討

国土技術政策総合研究所大規模河川構造物研究室交流研究員 我彦 聡志

〃 明渡 翔大

〃 主任研究官 金縄 健一

〃 室長 櫻井 寿之

現場報告 美和発電所の大規模改修に伴う美和ダムの対応について

国土交通省中部地方整備局天竜川ダム統合管理事務所美和ダム管理支所管理第1係長 垣崎 貴寛

〃 支所長 山田 哲士

国土交通省中部地方整備局天竜川ダム統合管理事務所所長 尾畑 伸之

石手川ダムの弾力的管理の試験運用について
～洪水調節容量の貯留による有効活用について～

国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所石手川ダム管理支所係員 郡 蓮太

〃 支所長 中村 成孝

〃 専門官 仲田 隆宏

上水道専用ダムへのアセットマネジメントの導入

佐世保市水道局水道施設課 笹山 太

総目次

奥付

第39回「ダムフォトコンテスト」審査会結果発表&第40回「ダムフォトコンテスト」応募要領

図 書 販 売

1. ダム技術
・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）
令和6年4月号（No. 451）～令和7年3月号（No. 462） 1,400円（税込・送料込）
2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）
・平成17年6月発行 A4 判 88,200円（税込・送料別）
3. RCD工法技術の進歩
・平成17年12月発行 A4 判 4,500円（税込・送料別）
4. ダムの安全管理
・平成18年5月発行 B5 判 2,000円（税込・送料別）
5. 地質現象とダム
・平成20年6月発行 A4 判 7,000円（税込・送料別）
6. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術
・平成22年8月発行 A5 判 6,000円（税込・送料別）
7. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料
・平成24年2月発行 A4 判 2,000円（税込・送料別）
8. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料
・平成24年6月発行 A4 判 3,000円（税込・送料別）
9. ダム技術Q&A—総集編—改訂版 I
・平成27年3月発行 A4判 3,240円（税込・送料別）
10. ダムの地質調査—ボーリング・調査坑・トレンチ—
・平成27年3月発行 A4判 6,000円（税込・送料別）
11. RCD工法施工技術資料
・平成31年3月発行 A4判 5,000円（税込・送料別）
12. 岩盤画像の取得と活用
・令和3年3月発行 A4判 7,000円（税込・送料別）
13. ダム工事積算の解説（令和3年度版）
・令和3年8月発行 A4判 2,900円（税込・送料別）
14. ダム用PSアンカー設計施工マニュアル
・令和3年9月発行 A4判 3,300円（税込・送料別）
15. ダム工事積算の解説（令和5年度版）
・令和5年10月10日発行 A4判 3,000円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。

申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりword及びPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

【法人名】 一般財団法人ダム技術センター 図書販売

【郵便番号】 〒110-0008

【住所】 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

【担当者】 図書販売担当

【電話】 03-5815-4161

【FAX】 03-5815-4162

【電子メール】 books@jdec.or.jp

